

〔釈文〕

北陸三県大つなミ 一ツトセぶし

(上段)

一ツトセ「ひとぐ／おどろく北陸の、く、
前代未聞の大つなミ、 この／大さハぎ、

二ツトセ「ふ幸のわざハひかうむりし、く、

青森岩手に宮城県、 この／きやうへんよ、

三ツトセ「見るもおそろし大つなミ、

火事や地震ハまだおろか、 ほんとに／おそろしい、

四ツトセ「よわたる便りや妻や子に、く、

はなれしひとく／気のどくよ、 ても／あはれさよ、

五ツトセ「いきほひ激しき大つなミ、く、

にげるひまなき五分間、 ほんに／おそろしや、

六ツトセ「むざんなるかやつなミにて、く、

ひとの死傷ハ六万よ、 見るも／あはれなり、

七ツトセ「なかなかかたるもおそろしき、く、

実況視察の有様よ、 きくさへ／おそろしや、

八ツトセ「やまをもつんざくつなミにて、く、

ながれしいへかづしれず、 たちき／までも／ひきぬいて、

(下段)
九ツトセ「こぎたすうミには／つゝがなく、く、／のかれ漁夫の／うんのよき、 いのち／

あつての／ものだねよ、

十ヲトセ「とほうにくれたる／罹災者を、／めぐむ政府の／救助米、 いづれも／いけ／かへ

る、

十一トセ「いきはりづゝにて、／さいばんも、／つなミでせひなく／ねがひさげ、／あいてが

ないの／でなき／ねい／り、

十二トセ「にしよひがしと／ほんそうし、／有志が募集の／義えん金、 さい／ミン／すくひ

の／(貼紙) そのために」